

学芸発表会 ~最終回~

2年合唱「永遠のキャンパス」



「123の2の4の5」
「312の4の2の4の5！」

カウントダウンをするとき、
なぜ「9(きゅう)」ではなく、
「このこのつ」というのでしょうか？



大切なのは「愛」です！



客:「メニューは？」
店員:「フフ、お客様、踏んでますよ！」

面接官:「何歳ですか？」
中学生:「か、神に命を授かってから14年です！」



「B-girls (Bunrin-girls)」
ビーガールズによるダンスです！

学芸発表会の感想文

「学芸発表会」

僕は、今年の学芸発表会は心配だらけでした。一番心配だったのは、演劇でした。はじめに誘われた時には、子ども役だったので簡単だと思ったのですが、老人役に選ばれた時は、ちゃんとできるか心配でした。声がよく通るとは褒められても、感情の込め方がわからず、とても難しかったです。セリフもなかなか覚えられず、練習をしていて他の人はどんどん感情がこもってきて、突き放されていると思い、とても不安でした。自分がこんな役をやっているのか自信がなくなりました。そんな中、もう一つ不安なことができました。それは、練習で人数がそろわないことです。これで本番、大丈夫なのか心配でした。時間が過ぎても心配事はなくなりません。ついに、本番前最後の練習になりました。未だに台本を見る人や、スポットもうまくできず、人数がそろったとはいえ、本当にこのままではまずいと思いました。学芸発表会のトリが失敗してしまうとすべて台無しになって、恥をかいてしまうなと思いました。

そして本番。午後の展示見学のフリータイムの時から準備を始め、立ち位置に立ち、ついに幕が開きました。幕が閉じている時より緊張がほぐれました。なぜなら、真っ暗だからです。人の顔が見えない分、練習のようにできました。何度か頭が真っ白になった時もありましたが、劇は順調に進んでいきました。

「グッドバイ・マイ・・・」黄郎が最後の言葉を言い、幕が閉じた瞬間、開放感がありました。心がホッとしました。自分の中ではよくできたと思いました。反省点としては、自分ができることをすべきだったなと思いました。来年、またこのような機会があったらみんなが、努力は裏切らなかったねと思えるような練習をしたいと思いました。

演劇部と有志による「グッドバイ・マイ・・・」



ブース発表

